

地域計画づくりの流れ

第1回 課題や思いを共有し整理しよう

2023/8/30 (水) 19:00-21:00

2022年度に実施したみずなみ”未来”カフェ、まちづくり講演会ワークショップでの意見を参考に、個々の関心の高いテーマに分かれて課題の深堀や地域への思いを共有しました。



第2回 地域の将来像を描こう

2023/9/21 (木) 19:00-21:00

参加者それぞれが思い描く「こうあってほしい」10年後の地域の姿を共有し合い、似た思いの人たちで目標を作成しました。



第3回 行動計画、実施体制を作ろう

2023/10/24 (火) 19:00-21:00

目標の実現のために、やりたいことや必要だと思うこと、具体的に取るべきこと、実施体制などを考えました。



日吉町地域計画2024

発行年月：令和6年2月

日吉町まちづくり推進協議会

住所：瑞浪市日吉町4093-2

電話：0572-69-2036

岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を活用しています

岐阜県瑞浪市 日吉町地域計画 2024



はじめに

わたしたちが暮らす地域には、人口減少や少子高齢化によって様々な課題が生じています。

この地域計画は、全3回のワークショップを通じて地域をもっと良くしたいという思いを共有しながら『こんな地域で暮らし続けたい将来像』と『わたしたち自身に取り組むこと』を話し合い行動計画として取りまとめたものです。

計画づくりにあたっては

- 自分たちにとってやる気の出る、意味あるものにする
- 人に押し付けて仕事を増やさない
- やりたい人・必要だと思う人を中心に取り組みを考える

これらを重視して話し合いました。

いつか誰かがやってくれるだろう…という活動でなくまず自分から一歩、動き出せるように似たような思いの住民がチームとなり計画しました。

今後も、多様な世代で意見を交わす機会をもちながら、無理なくひとつひとつ活動を続けより良い地域を共につくっていきましょう。

今、日吉町がかかえる課題や困りごと

人口減を緩やかに

現状でも若い人が少なく、今後ますます若い人が住まなくなるのではと心配です。今いる若い世代が住み続けられる（仕事に行きやすい、子育てしやすいなど）2世代・3世代同居はもちろん、移住者を迎え入れていく必要があります。移住促進には住民の理解も大切です。いい移住委員会を中心に、空き家情報を積極的に把握・発信したり、住民と移住者との懸け橋が必要です。

役の負担感

町、区、各団体など様々な行事が多く、人手不足もあり、1人の負担が大きくなっています。事業そのものは楽しいものの運営側には負担があり、今後伝統行事の継承や継続ができるのか心配です。目的の共有や、行事後には振り返りをしたり、年配者と若手の意見共有をしていくことも必要です。

子どもたちに体験を

自然が豊かなのに、子どもが自然の中で遊んだり里山体験をする機会は不足しています。また子どもが少なく家々も遠いため、子ども同士の交流も限られています。日吉でらこやを充実させ、もっとたくさんの方が子育てに関わり、日吉の人がみんな「子どもは宝」と思ってくれるような町にしたいです。

環境を守りたい

川の汚れ、臭気など自然環境の改善が必要です。また太陽光パネルの増加により景観も悪化しています。農業従事者の高齢化などにより、将来自分たちだけで農地を管理し守っていくのか不安があります。鳥獣被害も深刻です。田舎暮らしに興味のある人に農業の良さをアピールしたり、新しい農地の活用策を模索する必要があります。

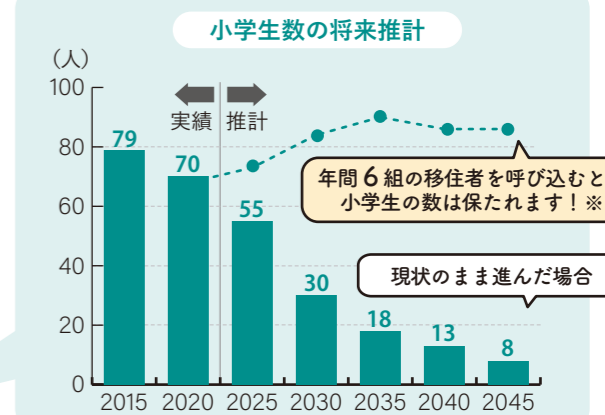
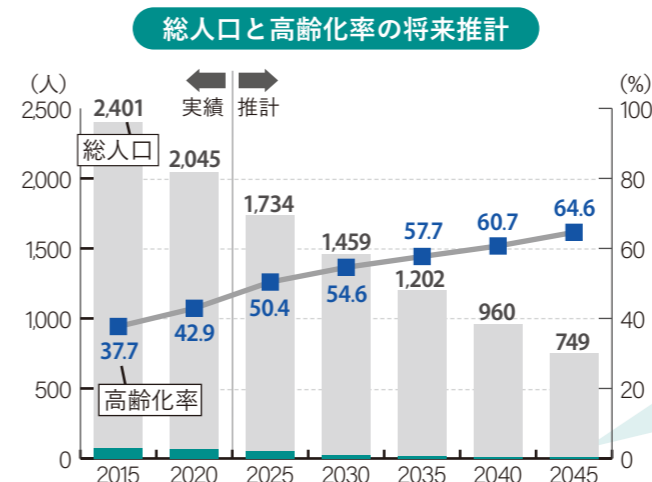
高齢者を地域で見守る

高齢世帯、独居世帯が増加しています。日吉町は、買い物・病院など生活に必要な場まで遠く、車の運転ができなくなると日常生活が困難になります。当たり前には助け合いができるような町となるよう、日常的な見守りや、高齢者と地域の人・子どもの交流なども必要です。

世代を超えた話し合いを!

町民が集まって、まずは町の現状や、お互いの思いを知ること、若い人を含む様々な年代の人の意見を聞き、話し合って進めていきたい。課題解決への取り組みには、若い人や新たな仲間がチームを作り、参加していただきたい。また行動力のあるリーダーも必要です。時には行政や専門家の力も借りながら、約8割の子どもたちが「好き」だと言っている日吉町を地域全体で存続させたい。

この先、日吉町の人口はどうなる？



日吉町の将来像

人がイキイキ 自然豊かな郷 日吉

これからも大切にしたいこと、あったらいいこと、取り組みたいことなど
それぞれが思い描く「こうあってほしい」日吉町の姿です。

若い世帯、移住者が増えてほしい
子育て世代が増えるようにしたい
若者の才能を発揮する場があるまち
日吉の良さを
他地域の人に知ってもらいたい

日吉幼稚園、日吉小学校が
統合されず存続
日吉小学校が1クラス15人に
日吉小学校全校生徒100人!

働く場所が近くにある
都市部の仕事が
日吉でできる

公共交通が
増えてほしい
交通インフラの整備

安全に暮らせるまち
皆が安心して住み続けられるまち
防犯がしっかりしたまち

地域を担う子どもを育てたい
子どもたちの遊び声が聞こえるまち
地域全体で子育てできる

日吉の川を美しく
自然・環境保護大切にする
草刈りの心配がない道路管理
自然の維持を大切にしたい

日吉町各区間の助け合い
町民相互のさらなる親睦交流
皆で集まり作業の機会があってほしい
まちづくりに関わる人の裾野を広げたい
区の役員の負担軽減

郷土芸能の伝承
文化財を大切に守りたい
文化施設を大切にする



美しい農村景観を残す
農村風景が守られてほしい
きれいな農村・里山が維持されている
田んぼをやってくれる人がいるといい
農業の担い手と田を大切にしたい

仲間と楽しく元気に
町内の人と知り合いたい
高齢者に優しいまち
サロンを作りたい

多世代の人が集まれるまち
子どもも大人も気軽に立ち寄れる場がある
子どもも大人も楽しく気持ちよく暮らせる
子どもも大人も交流できるまち



10年後の目標・行動計画・実施体制

 取り組む際の主体(既存組織・団体・有志のグループなど)  協働・協力してほしい相手

下記は、ワークショップで話し合われた目標と、そのための計画(取り組むこと、取り組めそうなこと、取り組めるといいこと)、実施する際の主体です。今後、具体的な事業計画や協力体制・実行の仕組みを検討し、地域で必要な事業を行います。


目標

若い世帯、移住者が増え、人口減少が緩やかになっている

計画

- ・空き家バンクへの登録など空き家の有効な活用を進める
- ・空き家情報の発信と移住希望者とのマッチング
- ・子育て世代の移住者を増やす
- ・若い世代が住み続けられるまちづくり(子育て・仕事・環境)
- ・バスなどの運行を増やし、年をとっても住み続けられる(調査や勉強会)

体制

 いい移住委員会・空き家対策委員会
日吉てらこや実行委員会

仲間を募っています

日吉町の将来にとって、移住促進の取り組みは、とても重要です。今いる若い世代が住み続けられるまちづくりと同時に、日吉小学校が存続し続けるよう、日吉で暮らしたい移住者をあたたかく迎え入れていきます。


目標

自然・環境・文化を大切にすま

計画

- ・美しい川をつくる
 - －川の環境、状態を調査する
 - －標語を募集し看板をつくる
 - －他の事例を調べる、見学する など
- ・文化的財産の保護と保全
- ・日吉町民全員で環境整備(草刈り)を行う

体制

 日吉町民、草刈りボランティア、文化財保存会

仲間を募っています

自然環境を大切に、魚が住み、虫がいて、子どもたちが遊べるような美しい川になっていくといい。また、日吉の財産である伝統芸能や文化をこれからも大切に守っていきます。


目標

農業の担い手がいて、美しい景観を残す

計画

- ・鳥獣被害の対策
- ・農業移住者を受け入れる体制をつくる
- ・新たな農業の担い手により耕作放棄地をなくす

体制

 猟友会・営農組織・農業担い手・いい移住委員会
空き家対策委員会

仲間を募っています

日吉の美しい農村景色、田畑をこれからも大切にして守っていきたい。田舎暮らしに興味のある人に農業の良さ、日吉の良さをアピールし、農業の担い手を呼び込んでいけるといいです。

目標

大人(高齢者も)も子どもも、みんなが集まれる場所をつくる

計画

- ・日吉てらこやを充実させ広めていく
 - －平日の見守りの充実、PRや声かけ
 - －日吉外の子どもも受け入れていく体制づくり
- ・農業体験・里山体験を通じた大人と子どもの交流と
焼き芋大会・芋煮会などの復活
 - －地域外からも参加できるイベントを実施
 - －地域の方、中・高・大学生と連携、他地区との交流
- ・年を重ねても楽しく過ごせるようサロンをつくる
- ・仲間集めのため空き家を活用したカフェをつくる

体制

 日吉てらこや実行委員会・まちづくり・営農組織など

仲間を募っています

2023年から実施している「日吉てらこや」を充実させていき、今後は様々な人が交流できたり、地域外の子どもたちも受け入れられるような居場所となっていくといいです。日吉にある空き家を活用したり、農村ステイ(田植え、稲刈りなど)を通じて、移住へもつなげたいです。